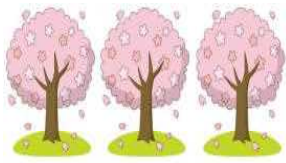


高取小だより

令和7年7月10日



三本桜

第15号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
7月の目標：規則正しい生活をしよう

懇談会、よろしくお願いします

7月11日（金）から17日（水）まで懇談会を実施します。日時の調整にあたっては、ご多用の中を無理をお願いしました。学習の到達度、授業中の様子、提出物、係活動、友達関係、夏休みにがんばってほしいことなどから、いくつかを精選してお話をさせていただきます。ただし、限られた時間の中では、十分な話ができないかもしれません。何かありましたら、事前に担任、学年主任までご連絡ください。よろしくお願いします。



全校遊び

7月3日（水）、児童会主催の全校遊びをしました。1年生から6年生が、名刺交換会（自己紹介）や間違い探し（ビフォー・アフター）に取り組みました。

児童会役員がリーダーシップを発揮して、お兄さん、お姉さんとして活躍していました。準備や打合せでは、苦勞をしたことが伝わってきました。およそ30分ほどの時間でしたが、とても楽しい時間となりました。



学校関係者評価委員会

7月8日（火）に学校関係者評価委員会を行いました。地域の方、保護者、高取小学校の子どもたちに関わってくださっている方々の中からお願いした方にご参加いただきました。高取小学校の学校経営について説明させていただき、その後、校内巡りをしながら、授業参観をしていただきました。よりよい高取小学校にしていくために、建設的なご意見を多数いただきました。高取小学校の大切な応援団として支えてくださることに心より感謝します。



過程と結果

いまだ目的を達せずとも、今していることを 味わおうとする心を養いましょう。
たしかに世間は結果で評価し、その過程は軽視されるかもしれませんが。
しかし、結果の評価は一瞬であり、わたしたちの人生の99パーセントは、
あることの結果と次の結果に挟まれた、長い過程の連続なのです。
結果が評価されることには、一時の大きな喜びがあるでしょうが、
過程の味わいには、小さくとも落ち着いた持続的喜びがあります。

『今を生きることば』 平田栄一 著 より

結果と過程のどちらを重視するべきかは状況に応じて変わります。互いに補完し合う関係にあるといえるからです。場面や目的に応じてバランスよく考えていくとよいと考えます。
人を褒めるときは、結果よりも過程を重視することが効果的です。過程を褒めることで、その人の努力や成長を認めることができるからです。

例えば、テストでよい点を取った子どもに対して、「よい点が取れてすごいね」というよりも、「毎日コツコツ勉強していたのがすごいね」という方が効果的です。「その過程＝努力」を継続できるようになります。

過程を褒めると、内面的な成長を促し、自信をもたせることができます。結果が思わしくなかった場合でも、前向きな姿勢を持ち続けられるようになります。子どもたちには、結果を求めながらも、そこに至る過程を重要視して接していきたいと思います。

